

地区別ワークショップ 実施方針（案）

1. 目的

6月に実施した市民・事業所のアンケート調査により、白井市らしい景観やみどりの魅力やあり方に関する市民や事業所の考えの傾向が把握できた。しかし、市内には在来集落、旧市街地、ニュータウン、谷津など特色の異なる景観・みどりが存在するため、計画策定においては地域ごとにその特性や課題をより詳細に整理する必要がある。

上記を受け、当該地区の特性を行政と市民の双方がより詳細に把握することを目的に、地区ごとにワークショップを開催する。また、本ワークショップを通じて、他の参加者の意見を聞くことで、より多くの市民に「都市的な素晴らしい景観だけが景観ではない」「原始的な（手つかずの）大自然だけがみどりではない」といった気付きを得てもらうことを目的とする。

2. 概要

開催日時・場所 12月21日（土）9:30～12:00 桜台センター

テーマ： 14:00～16:30 公民センター

12月22日（日）9:30～12:00 市役所

1月11日（土）9:30～12:00 複合センター

14:30～17:00 富士センター

対象： 市民（小学4年生以上）および地区内関係団体、各回30名程度

実施形式： ・市からの趣旨および検討状況に関する説明

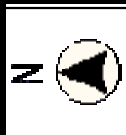
・各回の周辺地域を題材としたワークショップ（お気に入りの景観やみどりを参加者同士で共有、背景情報を踏まえたうえで地区の特性について議論）

・ワークショップ成果に対する専門的な立場からのリアクションコメント

3. 成果活用方法

現在想定している本ワークショップ成果の活用方法を以下に示す。

- ・ 着目すべき地区ごとの景観・みどりの資源リストの作成
- ・ 文献調査やアンケート調査結果からとりまとめた白井市の景観やみどりの特性の新的のために、市民の認識を示す資料として使用
- ・ 本ワークショップ成果によって得られるエリア・ポイントは市民の関心が高い箇所であると考えられるため、施策メニューの優先順位検討に使用



○ 各会場で主にワークショップの対象とする地域

